

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 健康心理学コラム vol. 72 島津明人 (北里大学)

1) 学会からのお知らせ

■認定健康心理士資格申請・更新書類受付期間について

既にお知らせ致しましたように、2019年度より資格申請・更新の書類受付期間は10月から2月までとなります。認定日は、原則として4月1日付となります。当分の間経過措置として更新の有効期限は、資格取得日から5年間経過した後、直近の3月31日までとなります。

2) 健康心理学コラム Vol. 72

「健康経営とワーク・エンゲイジメント」
島津明人 (北里大学)

ここ数年、健康経営という言葉が浸透するようになりました。健康経営とは、従業員や従業員を取り巻く人々の健康が企業および社会に不可欠な資本であることを認識し、従業員への健康情報の提供や健康投資を促すしくみを構築することで、生産性の低下を防ぎ、医療費を抑制して企業の収益性向上を目ざす取り組みのことです。経済産業省は2016年度から「健康経営優良法人認定制度」を開始しました。この制度は、健康経営に取り組んでいる優良法人を認定し、健康経営の普及促進を図ることがねらいです。この認定基準の一つに「ワーク・エンゲイジメント」が含まれていることをご存知でしょうか？

ワーク・エンゲイジメントとは「仕事に誇りややりがいを感じている」(熱意)、「仕事に熱心に取り組んでいる」(没頭)、「仕事から活力を得ていきいきとしている」(活力)の3つがそろった状態であり、バーンアウト(燃え尽き)の対概念として位置づけられています。バーンアウトした従業員は、疲弊し仕事への熱意が低下しているのに対して、ワーク・エンゲイジメントの高い従業員は、心身の健康が良好で、生産性も高いことが分かっています(島津, 2014, 2018; Shimazu, Schaufeli, Kamiyama, & Kawakami, 2015)。

ワーク・エンゲイジメントは、個人の健康だけでなく組織全体の健康を考えるうえでも、大事な概念です。科学的根拠にもとづく政策につなげるうえでも、研究成果のさらなる蓄積が望まれています。

文献

島津明人 (2014). ワーク・エンゲイジメント: ポジティブ・メンタルヘルスで活力ある毎日を 労働調査会.

島津明人 (編集代表) (2018). Q&A で学ぶワーク・エンゲイジメント 金剛出版

Shimazu, A., Schaufeli, W. B., Kamiyama, K., & Kawakami, N. (2015). Workaholism vs. work engagement: The two different predictors of future well-being and performance. *International Journal of Behavioral Medicine*, 22, 18-23.

日本健康心理学会広報委員会
<http://jahp-public.blogspot.jp/>
メールマガジンの配信停止、アドレス変更は下記アドレスまで
日本健康心理学会事務局 <jahp-post@bunken.co.jp>
メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで

広報委員会 <jahp-ML@bunken.co.jp>
過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます
<http://jahp.wdc-jp.com/health/health1.html>